

令和5年度

筑波大学大学院

人文社会ビジネス科学学術院ビジネス科学研究群

経営学学位プログラム（博士前期課程）

入学試験問題[小論文]

注意事項（指示に従わない場合は採点の対象とならない場合があります。）

- ・ 問題1か問題2のいずれか 1問のみを選択して解答してください。
- ・ 選択した問題の番号を解答の冒頭に明記してください。
- ・ 答案用紙は 解答用紙のおもて面のみを使用してください。

## 問題 1

新型コロナウイルス感染症が拡大した当初は多くの企業で在宅勤務が導入されましたが、2年以上が経過してワクチン接種が進んだこともあり、従来通り出社する勤務形態に戻す企業が増えています。一方で、在宅勤務を積極的に推進している企業もあり、在宅勤務を巡る対応は企業によって分かれています。このことに関連して、以下の各問に答えて下さい。

- 問 1) 在宅勤務によって個人やチームのパフォーマンスが低下しないようにするには、何が重要だと考えますか。あなたが重要だと考えることを3つ挙げて、出社する場合と対比しながら内容を説明して下さい。
- 問 2) 新型コロナウイルス感染症の鎮静化後を見据えて、中長期的な在宅勤務のあり方（継続するか否か、継続する場合の制度設計等）を検討する委員会が社内に設置され、あなたはその委員に選ばれました。在宅勤務の影響は広範囲に及ぶため多面的な視点での検討が求められますが、その中であなたが重要と考える視点を複数挙げて、具体的に説明して下さい。また、それらの視点が重要と考える理由も述べて下さい。
- 問 3) 委員会で検討する中で、調査やデータ収集（以下、調査）が必要との話になりました。問 2 で挙げた視点から1つ選び、その視点について検討するための調査を行う場合、どのような調査を行いますか。調査の内容や方法、調査結果の利用方法などがわかるように説明して下さい。

## 問題 2

新たな企業成長のために DX (デジタルトランスフォーメーション) の推進を目標に掲げる企業が増えています。DX の定義には様々ありますが、ここでは「企業がデータとデジタル技術を活用しながら、顧客や社会の変化に対応して、製品・サービス・ビジネスモデルを新たに創出したり、既存のものを変革したりすること」とします。DX には、デジタル技術を用いたイノベーション創出や、IT システムの導入・更新を契機にした事業改革や組織再編が含まれています。このような前提のもとで、以下の問いについて答えて下さい。

- 問 1) 企業で事業に用いるデータは様々ですが、3つ列挙して下さい。その上で、それらデータの特徴を説明して下さい。
- 問 2) DX を推進しようとする組織的な対応が必要となることがあります。たとえば、部門をまたがってデータを利用しようとする組織再編が必要になることなどが挙げられます。顧客の購買データを事業で用いる場合に、組織再編が必要になるような状況を示しながら、組織再編が必要な理由と組織再編後の組織の姿を説明して下さい。(なお、例は仮想的なもので結構です)
- 問 3) 企業の活動は「新規領域の取り組み」「既存領域の取り組み」の2つから構成されるとする考え方があります。この考え方をもとに、既存のビジネスで成功している企業ほど、DX を行うことが難しい、とする主張がなされています。なぜ、既存のビジネスで成功している企業ほど DX を行うことが難しいと考えられるのかを説明して下さい。